

会派合同視察報告

市民クラブ

中牧 盛登

小澤 悟

峻嶺会

一本木秀章

傳刀 健

期間：令和6年7月16日（火）から17日（水）まで（2日間）

査察地及び視察事項

（1）神奈川県大磯町

- ・大磯式部活動について
- ・女性議員比率増加による議会の変化について



（2）神奈川県開成町

- ・議会広報改革
- ・一般質問20秒動画について



（3）山梨県北杜市

- ・水の山プロジェクトについて



(1) 神奈川県大磯町

- ・大磯式部活動について
- ・女性議員比率増加による議会の変化について

日時：7月16日（火）10時00分から12時00分



大磯ロングビーチ

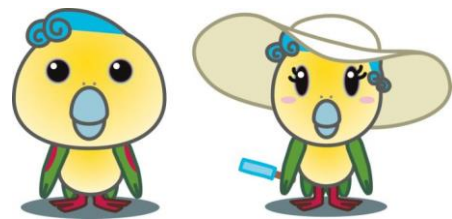
○大磯町の概要

市制施行：昭和29年12月15日

人口：30,952人（令和6年4月1日現在）

12,960世帯

面積：17.18k㎡



大磯町キャラクター いそべえ・あおみ

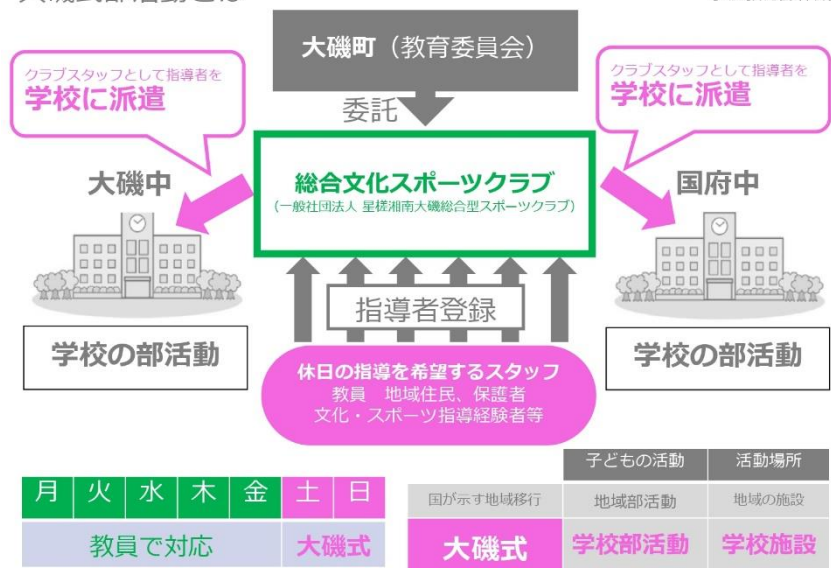
○大磯式部活動

【中学校部活動の課題】

- ・日本中で少子化が進展する中、学校部活動を今までと同様の体制で運用することは難しくなってきた。そこで、国は部活動を学校単位から地域単位の取り組みとする方向を示し、令和5年度以降、休日の部活動から段階的に地域以降を図っていくことになった。一方で、国の方針どおりに単純に進め、部活動をなくすことになれば、部活動に所属している大部分の生徒が気軽に文化・スポーツ活動に親しむ環境が失われてしまう可能性が考えられる。

大磯式部活動とは

学校教育課作成



【大磯町の動き】

- ・こうしたなか、国と地域の考えも踏まえ、町ならではの部活動のあり方を検討した結果、地域以降ありきではなく、学校での部活動という枠組みはできる限り残したうえで、今までも部活動以外の場において、町の子どもたちに関わっていただいている大人の皆さんをはじめとした、種目指導に優れた地域の指導者を部活指導員として登用し、町の子供たちが安心して部活動に参加できる、大磯式の部活動の仕組みを整えることとした。

【こどもの気持ち】

- ・いつも見てくれている先生に教わりたい・専門知識のある人にみてもらいたい・なじみの仲間との学校単位の部活がいい・もっと活動したい

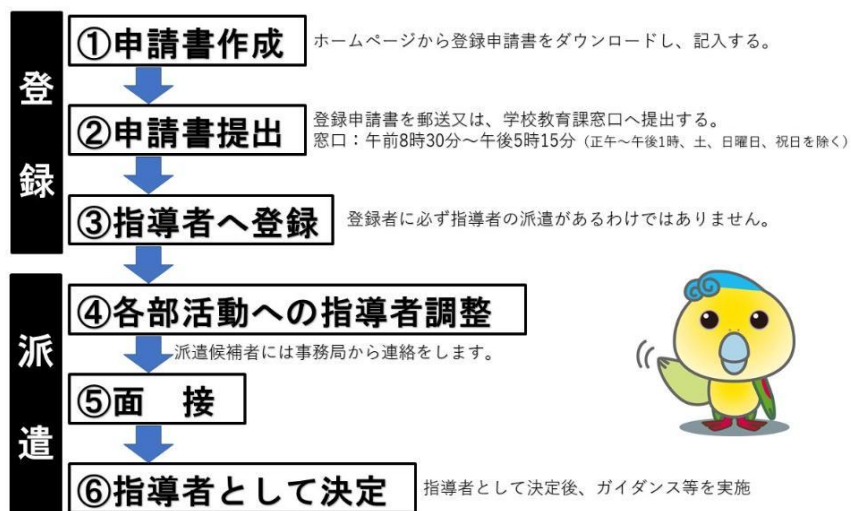
【明らかになった町としての実態】

- ・こどもは熱意のある指導者に教わりたい気持ちがある・先生も学校部活動を大切にする 必要性を感じている・学校部活動の指導を希望する教員は49%である。

※R6教員アンケートより

【期待できる効果】

- ① 「学校部活動」という子どもにとって慣れた環境での既存システムを活用
安心・安全の担保 指導上起こりうるトラブルやケガ等を回避
- ② 学校施設を活用→会場費を抑え、家庭の費用負担を軽減
- ③ スポーツクラブを活用した公募・登録制→有能な指導者の発掘を断続的に行える
- ④ 指導を希望する熱意ある教員の力を活用できる
※兼職兼業システムの整備 ※希望する教員を優先配置
- ⑤ 教員以外の指導者でも部活の運営が可能となる
※希望する教員でまかなえない部は地域の指導者で補填
- ⑥ スポーツクラブを通じた指導者派遣で、より専門的な指導を受けられる



○所感

(中牧盛登)

- ・大磯町は、部活動改革の方向性を決めるにあたり、子どもたちの気持ちや教員の考え方、関係する地域の人たちの考え等、2年間かけて検討してきている。

- ・その結果として、大磯式部活動はこれまでの学校活動の枠組みを最大限活用していくとした。子どもたちは、今までと同じ学校内の活動のままである。
- ・市民への周知についても、大磯式部活動スタートとして広報とチラシを回覧するなどきめ細やかな対応ができています。
- ・当市は、十分な検討がされずに準クラブ化として、スタートしたが、子どもたちの将来のためには、これからしっかりと検討準備を重ね大町らしさが見える部活動改革を進めていただきたい。
- ・大磯式部活動の取り組みは多いに参考にすべきと考える。



(小澤悟)

- ・「部活動の地域移行」は全国的な問題で当市も地域移行はうまく進んでいないと感じ、少しでも今活動している、子どもたち、親御さん、先生(指導者)の不安を取り除く必要があるため、大磯式部活動の視察を行った。
- ・大磯式部活動を視察して一番感じた所は、子供たちに対する想い、部活動が子供たちの成長にとってどれだけ重要か、形だけではなく中身も現在進行形で進んでいるのが大磯町で、中身もなく進めてしまったように、見えるのが大町市でその差を感じた。
- ・一番は今いる子供たちが部活動をどうしたいか、大磯町は子どもたちにアンケート通し、不安要素を取り除き今までと変わらず活動できるよう取り組んでいるように感じた。
- ・地域住民には今後大磯町の部活動の進め方をしっかりと説明している。大磯式部活動の取り組みは全国中学部活動のモデルになり、ぜひ大町市も参考にしていきたい。

(一本木秀章)

- ・大磯式部活動はスポーツ活動だけでなく、文化活動など多岐による活動が行われている。
- ・地域住民が主体となって部活動を企画して、運営をしていた。学校と地域の絆が深まり、効率的な部活動が実践されている。
- ・大磯式部活動は町教育委員会の「わくわくプラン」に基づいて活動ができています。
- ・総合文化スポーツクラブを中心に保護者や地域住民の協力で素晴らしい部活動が行われている。これから大町市の部活動の地域移行にぜひ参考にしていきたい。

(傳刀健)

- ・「部活動の地域移行」は少子化や教員の減少する中、子どもたちのスポーツ、文化芸術に携わる機会を維持するための要請であり、全国の中学校で課題となっているが、大町市でも当然、喫緊の課題である。
- ・大磯町には2つの町立中学校があるが、子どもたちや教職員、地域の声を早い段階で聞きとり、学校単位の部活動を無理に変えるのではなく、実情に応じた地域クラブへの移行を目指し、そのための課題の整理ができていた。特に星槎大学の協力の基に「総合文化スポーツクラブ」が立

ち上げられており、運営主体として機能しており、地域移行に向け、どこをどのように強化していくべきか、将来に向けた舵取りができています。

- ・大町市では、教育委員会と学校、保護者、各部活動とそれぞれの足並みが全くそろっていない。推進するための頭脳と、運営する手足を早期に立ち上げ、大町市らしい地域クラブの構築を目指す必要を強く感じた。

○大磯町 女性議員比率増加による議会の変化について

【歴史】大磯町議会の特徴 議員定数14名(男性7名・女性7名)

バブル期 町民による開発運動が頻発
大磯の自然・環境、歴史・文化を守りたい
と女性が積極的に参画し次々と女性議員
が誕生した

**男性・女性議員が同数
議員定数14名 (男性7名・女性7名)**



【変化】自由に意見が言い合える議会の
誕生

- ・「男性・女性だから」・「一期生議員、ベテラン議員だから」という意識は薄い
- ・互いに臆することなく、言いたいことが言える雰囲気
※新人議員の目立つ言動に対して・・・

○所感

(小澤悟)

- ・議会の女性比率が平成15年以降ほぼ半数を超えていることが、当市に比べても、全国的にも珍しい。議会の特徴として「男性だから・女性だから」という意識が無いという事・大磯町の風土に感銘を受けた。

(一本気秀章)

- ・女性議員比率が50%を達成している。女性議員の増加により、女性ならではの視点やニーズが議会に取り入れられ、子育て支援や福祉サービス、働き方改革や女性や家庭に関する政策が充実している。

(傳刀健)

- ・平成15年以降女性議員の比率が半数以上を維持していることに驚く。特に女性議員を維持するための取組があったわけではなく、大磯町全体に延々と受け継がれている自由闊達な風土が議会にも影響を与えているのだと感じた。男女の壁や議員歴の壁がなく、全ての意見を尊重しあう点においても感銘を受けた。

- ・大町市でも自由闊達な意見の中にもこそ、新しい発想と発展のカギがある。議会だけでなく全ての場面において、互いの意見を尊重することの大切さを改めて感じる視察であった。

(2) 神奈川県開成町

- ・議会広報改革・一般質問20秒動画について

日時：7月15日(火) 14時00分から16時00分

○開成町の概要

市政施行：昭和30年

人 口：18,797人(令和6年4月1日現在)

7,404世帯

面 積：6.55km²



図開成駅前第2公園に保存されている3100形NSE車

【位置と自然的条件】

開成町は、神奈川県西部の足柄上地区中央部に位置し、東京から70km圏内、横浜からも50kmの距離にあり、町域は東西1.7km、南北3.8km、総面積6.55kmと県内で一番小さな町である。また、本町の東には酒匂川が流れ、西には箱根外輪山、南には相模湾、北には丹沢山塊を望むなど、自然に恵まれたなだらかな平坦地である。交通網としては、本町から東名高速道路大井松田インターチェンジまで主要地方道御殿場大井線が連絡し、町外との東西交通の幹線道路として重要な役割を担っている。



【開成町議会改革の取り組み】

改革①通年会期制

開成町議会では、平成26年12月会議において、「開成町議会の会期等に関する条例」を策定し、1年間を会期とする「通年会期性」に移行した。

改革② 日曜議会

【実施の経緯】

傍聴者が減少傾向にあったこと及び平成17年度前後に、「夜間議会」や「日曜議会」が先進的な取り組みとして全国で始まったことで、開成町議会でも実施することとなった。

【開催時期】

町政施行50周年を記念し、平成17年度から開催

第1回は、12月に開催し、第2回から町の重要イベントである6月に開催している「あじさいまつり」の開催にあわせ毎年実施。」

【新たな取組み】

令和4年6月定例会で初の無料託児サービスを実施。

改革③ 議会ICT化の推進

令和2年12月から、議員1人1台のタブレット端末を配布し会議資料のデジタル化(ペーパーレス化)を図った。令和5年1月～12月→紙136,401枚削減

The screenshot shows a website page titled '議会改革の主な取り組み' (Main Measures of Council Reform). On the left is a navigation menu with 'INDEX' and items like '議会の取組', '議会改革の主な取り組み', '議会のうごき', and '議員派遣報告'. The main content area lists various initiatives from June 2022 to July 2023. On the right, there are buttons for 'ご意見・お問い合わせ' and '交通案内'.

実施時期	取り組み
令和5年7月	議場で幼小中学校の授業等を開始
令和5年6月	日曜議会を開催(90人の傍聴者。無料託児サービス実施)
令和5年4月	夏休み期間中、議場を自習室として一般開放
令和5年2月	全国町村議会特別表彰を受賞
令和4年9月	議会ウェブサイト開設(県内町村初の議会独自ウェブサイト)
令和4年6月	6月定例会議一般質問の概要を1人20秒で説明する動画を作成・配信 日曜議会(6月19日)を開催(議会初の無料託児サービスを実施)

改革④ 議会映像インターネット配信

令和3年6月から、議会映像のライブ配信と録画配信がスタート

開成町議会独自の取組みとして、一般質問の録画に字幕を入力し配信

改革⑤ 議会報告会

町内全14地区で「議会報告・意見交換会」を開催

- (1) 議会報告会～書く常任委員会の活動報告等～
- (2) 意見交換会～地域の現状や課題等について～

改革⑥ 議場を自習室として一般開放



期間：令和6年7月22日から8月23日まで
(土日祝日を除く)

午前9時00分から午後5時00分まで

場所：開成町役場3階 議場

対象：中学生以上(町内外問わない。大人も利用可。)

座席：20席(先着順)

※令和5年度利用実績：26日間で延べ156名利用、
Free Wi-Fi 有